

【要件：Ⅱ－C】金剛中央公園公園リニューアルにおける官民連携方策検討調査 【調査主体】大阪府富田林市(人口10.7万人)

事業・施設の概要

- 対象となるエリアである金剛地区は、**府内有数のニュータウンの一つ**ですが、**人口減少・少子高齢化などのいわゆるニュータウン問題が顕在化**している状況
- 対象公園の利用は、スポーツ施設利用がほとんどで、**地区住民による日常利用は少なく、活気が生まれにくい状況**(グラウンドの平日稼働率は低い)

金剛地区 (対象エリア)

・計画人口3万人を超える府内有数のニュータウン
 ・現在も市の人口の15%が居住する
 (エリア面積) 216.4ha



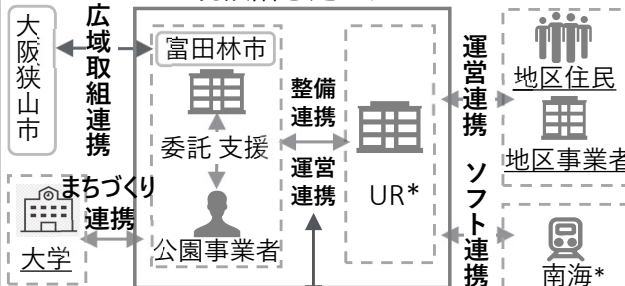
—— エリア・対象公園の問題 ——

- | | | |
|-------|------|---|
| 人口減少 | 金剛地区 | ピーク時から3割近く人口減少
子育て世代が大幅減少
高齢化率37.6%
年少人口比率9.2% |
| 少子高齢化 | 中央公園 | 公園内施設の老朽化が進行で安全確保困難
スポーツ以外での日常利用はほとんどない |
| 老朽化 | | |

ニュータウン問題解決

- ニュータウン再生のリーディングプロジェクトとして、**子育て支援機能を有する施設整備などを含む公園リニューアルを予定**しており、**その効果をエリア全体に波及させるための近隣事業者との連携体制構築や関連取り組みの検討も進んでいる**

現段階想定スキーム



効果最大化に向けた各種方策との一体推進

- | ハード取組 | ソフト取組 |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> パークレットを仮設 近隣歩道改修 歩道空間を改変 | <ul style="list-style-type: none"> プレイスメイキングでの社会実験 (R6) ウォーカブル空間に繋げる回遊性検討 |

ウォーカブル推進事業 (滞留性・回遊性の仕組み)

—— ポイント ——

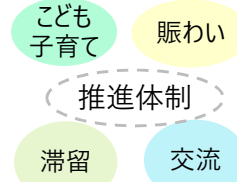
- ✓ サービス提供や管理部分でのデジタル化検討による効果最大化
- ✓ 地区住民もお祭りなどの地区イベントで公園を活用できる連携体制構築
- ✓ 市支援・地区事業者との連携による**エリア波及**
- ✓ 定期的な**広域連携も視野に入れた機運の醸成**

*UR: UR都市機構
 南海: 南海電気鉄道(株)
 **ソフト連携: 社会実験、エリアブランディングの連携

事業・施設の課題

★金剛中央公園がニュータウン問題解決の場所となる

① 効果最大
② 面的ニュータウン



- ニュータウン問題解決に向け、公園リニューアルの方針である「**こどもの成長と子育てをささえる場**」「**みんなで豊かさを育む場**」の実現のため、**こども・子育て、健康増進・交流の各機能の具体的な事業内容**の検討
- 公園整備・運営事業者の**業務範囲・要求水準・地区活性化の取り組みメリットの考え方の整理**
- 効果波及に繋げるため「**駅周辺のウォーカブルな空間づくり**」に向け、**住民等とウォーカブル推進ビジョン案**を策定
- 「パークレットの仮設による歩道空間の改変」、「**改変空間にヒトが滞留・交流し、通りが賑わう仕組みづくり**」の検討などの**社会実験を通じたソフト施策の充実**
- プレイスメイキングによる社会実験を通じた多様な使いこなしの実証による隣接**大通りへのしみ出し策の検討**
- これらを踏まえた**公園内での取り組みの整理**



検討経緯／事業化スケジュール

- 南海金剛駅を拠点とした金剛・狭山・泉北などの大規模ニュータウンにおいて、「多様な人材の集積」や、「地区価値の創造」など、魅力を備えた都市空間の創造の実現をめざしており、**大阪狭山市とは勉強会を開催するなど連携し、一体的なまちづくりの機運を醸成している**
- 市の総合ビジョン、まち・ひと・しごと創生総合戦略、マスタープランなどに当該エリア再編へ取り組むことについて明記されており、令和4年3月に**エリア再編のコンセプト等を取り纏めた「金剛地区施設等再整備基本構想」**を策定

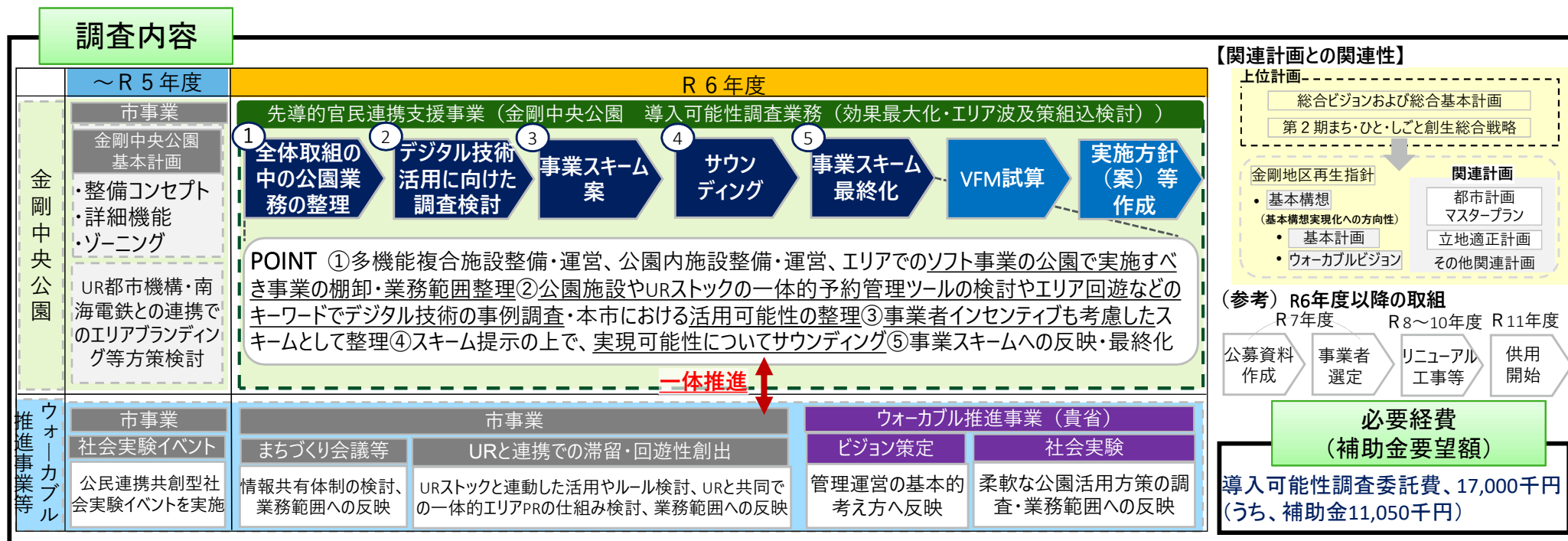
【基本構想の実現化に向けて】

- 令和5年度には、詳細機能やゾーニング案などを取りまとめた「**金剛中央公園・多機能複合施設等整備基本計画**」を策定
- 令和5～7年でウォーカブル推進事業(貴省)にて、公園リニューアルを軸とした効果波及に向けた社会実験等を実施



(社会実験一例)





先導性・汎用性

- 人口減少、少子化など地方部におけるニュータウン問題課題解決に向けた「こどもの成長」「子育て」「ゆたかさを育む」をテーマにした公園リニューアルであり、類似課題を抱える他都市においても幅広く活用可能で、検討内容の横展開が重要である
- 都市公園のリニューアルに合わせ、URストック（緑道、広場）と連動した活用・運営連携に加え、エリアPR連携も含めた回遊性・滞留性のあるウォーカブルな空間づくりを一体的に検討する取組は事例がなく、類似課題を抱える地方部では、今後検討需要が高まるテーマである
- 公園運営ルールへの反映の考え方や地区のイベント等での公園利用時における事業者の役割整理などの検討は、事例数も限定的で、持続可能な運営に向けた地区住民等との連携方策の検討などの重要度が高まってきており、検討内容の横展開が重要である
- デジタル技術を活用した、公園内施設やURストック活用の一体的予約管理ツール等の検討、公園の利活用状況を可視化する検討、公園を含めたエリアでの回遊などのデジタル技術活用方策の調査を行うことで、他市における検討の円滑化に寄与できる

実現可能性

- 平成28年度に「金剛地区再生指針」公表後から地区でのソフト取り組みを充実させてきており、令和5年度からは、「ウォーカブル推進事業」の中でその具体化に向けた検討も進めており、機運も醸成されてきている
- 令和4年3月に「金剛地区施設等再整備基本構想」を策定し、令和5年度には、「金剛中央公園・多機能複合施設等整備基本計画」を策定しており、公園リニューアルは確実に実施される

有効性

- ニュータウン再生のリーディングプロジェクトである公園リニューアルは、賑わい創出やエリア活性化の起点としての効果が期待できる
- 複数の取り組みを本事業の中で整理し、面的な効果波及にも繋げる
- 効果的な官民連携手法採用によるコスト縮減に加え、デジタル技術の活用検討も行い、効果最大化に繋げる